



刊 夕
發行日一十二月十
（刊休日翌日祭曜日）

小山田滋氏に會ふ

島田 忠 夫

小山田滋氏の歌人として、歌壇に地位を占め、社會生活の名を聞き知つて久しい。その地位のある人だが、つひお目にかゝる機会がなくて過ぎて了つて、敬服したものであつた。それを、こんど一々お會ひする機会を得て、私方歌壇の先覺者として尊敬され、居る態度も嬉しかつた。私は、常に「晩鐘」先生の業蹟と、玉の如き人格であつて、入山探炭會社に來られても、幹部としての地位を寄與されたと云つて居る位であるから、もちろん、敬服したものであつた。すべて活動的な歌壇を地方歌人のために書かれず、むしろよき慈父の如き立場から、新人の養成にのみ努めて來られたやうであつた。

しかし、今回たゞ「お會ひして見ると、非常に若々しい熱情を傾けるやうな態度で、短歌に心を向けられてゐることが知られて、今更だ敬服した次第であつた。

そして、さらに奥床しいと感じた事は、決して他の歌人の人物評に、悪口を言はれない事である。さうが中央の地位を占め、社會生活の名を聞き知つて久しい。その地位のある人だが、つひお目にかゝる機会がなくて過ぎて了つて、敬服したものであつた。それを、こんど一々お會ひする機会を得て、私方歌壇の先覺者として尊敬され、居る態度も嬉しかつた。私は、常に「晩鐘」先生の業蹟と、玉の如き人格であつて、入山探炭會社に來られても、幹部としての地位を寄與されたと云つて居る位であるから、もちろん、敬服したものであつた。すべて活動的な歌壇を地方歌人のために書かれず、むしろよき慈父の如き立場から、新人の養成にのみ努めて來られたやうであつた。

磐城歌壇

新妻 久満男 選

○田草とつらつと、腰をのびしてうち仰ぐ、夕立雲のほころびにけり
○雨雲のしほし切れ間に満月は、しづかに稻田照し居るなり
○朝霧のたちこめてゐる彼方には、川のあるらしき音
○見渡せば翠したくなる山々に、朝霧はれて心地よきかな
○夕やみを吾一人行く足音に、鈴虫はたと聲やみにけり

○たそがれの小窓に一人よりそへば、家をめぐりて鳴けるころうさぎ
○たそがれの小窓に一人よりそへば、家をめぐりて鳴けるころうさぎ

微笑の眸

笹野 純

「何人位でせうね」
「五人かも知れないわ」
「僕は鈴村君と山澤君ならびつたり立ち止つてしまつた。それで、彼はナ、子の顔を微笑を投げてから、」
「ナ、子は一寸驚いたが、」
「ナ、子は一寸驚いたが、」
「ナ、子は一寸驚いたが、」

乙女もなせに泣きなむす
顔にたもとをとおしあて、
つせぬ涙の優しさよ

愛し兒
青田 久良子

「これには……」
「これには……」
「これには……」

「これには……」
「これには……」
「これには……」

高橋是清

小 説

松浦 泉三郎 作

「これには……」
「これには……」
「これには……」



「これには……」
「これには……」
「これには……」

「君、服を求めたね……」
「ソレ……」
「正札堂……」

正札堂洋服店
東京一番のライオン印
平停車場 電話四三六番

内 外 建築材 又 阿部材木店
建具材 阿部 好利
電話四九四番

関内藥局
電話四〇番

高島屋洋服店
平町二丁目電話三三六番

洋樂新譜
試聽會開催
十月二十三日午後六時より
入場無料 (何れも入場試聽)

主催 會田時計店
同 金光堂時計店
後援 日本コロムビア
福島縣協同營業部

小瀧へ!!!
泊料 1.50 2.50
浴槽料 20
日湯浴席料 .50-.80
料理一定食 .80 1.00 1.50

湯の瀧
電話 (小名) 103番

高野洋服店
平町南町電話四八五

院醫波難
小兒科
入院 自便
電話五〇二番

景品大特價提供
高野洋服店

第一貨品
番八六二話電
平牛乳舎
小町・九品寺前

御婦人用防寒洋品
毛糸製コート ¥9.80
毛糸製羽織 ¥11.00

ヤルツ
電話四〇一

院醫波難
小兒科
入院 自便
電話五〇二番

景品大特價提供
高野洋服店

